



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月6日

上場会社名 株式会社UACJ

上場取引所 東

コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	497,440	8.5	13,917	△40.3	7,125	△54.4	1,200	△88.7
30年3月期第3四半期	458,668	9.9	23,305	35.1	15,625	21.8	10,648	126.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,869百万円 (△81.6%) 30年3月期第3四半期 15,610百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	24.87	ー
30年3月期第3四半期	220.66	ー

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	816,650	209,430	23.9
30年3月期	774,071	208,396	25.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 194,840百万円 30年3月期 194,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	3.00	ー	30.00	ー
31年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
31年3月期(予想)	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は60円となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	7.3	14,500	△50.4	6,500	△66.5	1,500	△87.8	31.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細につきましては、本日(平成31年2月6日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	48,328,193株	30年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	90,023株	30年3月期	86,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	48,240,192株	30年3月期3Q	48,251,961株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、堅調な動きを見せておりましたが、米中貿易摩擦の激化等の影響により、中国経済の減速が明らかになり、不確実性が高まりつつあります。

日本経済も、底堅さがある一方で、このような状況変化により先行きの不透明感が高まっております。

このような環境のもと、当社グループの連結業績については、連結子会社であるTri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材受注増加及び地金価格の上昇等により、売上高は497,440百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

一方、損益については中国市場の急激な減速や米中貿易摩擦の影響等により、当社の主力製品であるIT材や液晶・半導体製造装置用厚板の需要が大幅に減少したこと、当該需要の減少に加え自然災害の影響等もありコストダウンの遅れや製造コストの増加が発生したこと、当第3四半期連結会計期間において設備故障等の一過性要因が発生したこと等から、営業利益13,917百万円（同40.3%減）、経常利益7,125百万円（同54.4%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期において米国税制改革法の成立に伴う米国子会社での法人税額の減少があったこと等により、1,200百万円（同88.7%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、ビール系飲料が伸び悩み、さらに西日本豪雨等の自然災害による生産縮小の影響もあり、飲料缶向け全体では前年同期比減少となりました。一方、自動車関連向け需要は底堅く推移しましたが、船舶需要や液晶・半導体製造装置需要等の減少等により板類全体数量としては前年同期比で減少となりました。押出類に関しては、建材は好調でしたが、バストラック、乗用車、二輪の輸送向けが減少し押出類全体でも前年同期比で減少となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前年同期比で板類は減少、特にIT材や厚板（船舶、液晶・半導体製造装置用途）で大幅に減少し、押出類はほぼ等量となりました。一方、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材受注増加に支えられ、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期を上回りました。

このような販売状況のもと、販売数量の増加や地金価格の上昇等により、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は、400,382百万円（前年同期比9.5%増）となりました。営業利益については、中国市場の急激な減速や米中貿易摩擦の影響等によってIT材や液晶・半導体製造装置用厚板の需要が大幅に減少したこと、当該需要の減少に加え自然災害の影響等もありコストダウンの遅れや製造コストの増加が発生したこと、当第3四半期連結会計期間において設備故障等の一過性要因が発生したこと等から15,524百万円（同34.6%減）となりました。

伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用エアコン及び業務用パッケージエアコンの国内出荷台数は引き続き好調で、エアコン国内出荷台数はともに前年同期を上回りました。銅地金価格は上昇傾向であった前年同期に比べて、軟調に推移しました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は、35,898百万円（前年同期比6.8%増）となりました。営業利益は、品種構成の改善等に伴う増益があったものの棚卸評価関係の悪化により、1,397百万円（同5.3%減）となりました。

加工品・関連事業

IT関連の販売減はあったものの、電池材・空調関連品が堅調に推移したこと、地金価格の上昇の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は147,474百万円（前年同期比6.7%増）となりました。一方、営業利益はIT関連の落ち込みによる品種構成の悪化や間接費増等の影響により、2,414百万円（同28.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産については、棚卸資産の増加や設備投資等により、816,650百万円（前連結会計年度末比5.5%増）となりました。

負債については、Tri-Arrows Aluminum Inc.やUACJ (Thailand) Co., Ltd.への戦略投資等に伴う有利子負債の増加等により、607,221百万円（同7.3%増）となりました。

純資産については、為替換算調整勘定の増加等により、209,430百万円（同0.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国市場の急激な減速や米中貿易摩擦の影響等により、当第3四半期連結会計期間から想定以上に経営環境が急変し、当社の主力製品であるIT材や液晶・半導体製造装置用厚板の需要が大幅に減少しました。

また、このような経営環境に加え自然災害の影響等もあり、コストダウンの遅れや製造コストの増加が発生したこと、当第3四半期連結会計期間において設備故障等の一過性要因が発生したこと等から、平成30年5月9日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高は670,000百万円、営業利益は14,500百万円、経常利益は6,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,500百万円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日（平成31年2月6日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、期末配当につきましては1株につき60円を予定しており、前回公表予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,005	22,439
受取手形及び売掛金	135,181	147,864
商品及び製品	39,412	43,775
仕掛品	60,439	60,728
原材料及び貯蔵品	45,261	57,374
その他	20,193	24,241
貸倒引当金	△30	△33
流動資産合計	322,461	356,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,941	70,827
機械装置及び運搬具（純額）	108,600	117,235
土地	115,730	115,395
その他（純額）	41,821	48,856
有形固定資産合計	335,092	352,313
無形固定資産		
のれん	46,435	44,242
その他	14,268	13,088
無形固定資産合計	60,703	57,330
投資その他の資産		
投資有価証券	26,577	22,811
その他	29,310	27,876
貸倒引当金	△71	△69
投資その他の資産合計	55,816	50,618
固定資産合計	451,610	460,261
資産合計	774,071	816,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,335	124,572
短期借入金	61,777	68,653
コマーシャル・ペーパー	—	16,000
1年内償還予定の社債	2,500	—
1年内返済予定の長期借入金	50,643	58,850
その他	36,893	39,010
流動負債合計	273,148	307,086
固定負債		
長期借入金	227,417	240,437
退職給付に係る負債	18,465	18,222
その他	46,646	41,476
固定負債合計	292,527	300,135
負債合計	565,675	607,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	51,841	51,420
自己株式	△295	△304
株主資本合計	184,141	183,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,383	1,845
繰延ヘッジ損益	△806	△947
為替換算調整勘定	8,359	10,076
退職給付に係る調整累計額	158	156
その他の包括利益累計額合計	10,094	11,129
非支配株主持分	14,161	14,589
純資産合計	208,396	209,430
負債純資産合計	774,071	816,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	458,668	497,440
売上原価	394,710	439,958
売上総利益	63,958	57,482
販売費及び一般管理費	40,653	43,565
営業利益	23,305	13,917
営業外収益		
デリバティブ評価益	13	986
受取利息	686	767
その他	1,505	1,251
営業外収益合計	2,204	3,004
営業外費用		
支払利息	3,697	4,984
持分法による投資損失	4,736	3,032
その他	1,451	1,781
営業外費用合計	9,883	9,797
経常利益	15,625	7,125
特別利益		
投資有価証券売却益	54	725
固定資産売却益	388	419
受取保険金	188	—
その他	0	86
特別利益合計	631	1,230
特別損失		
固定資産除却損	425	529
火災による損失	—	214
その他	225	238
特別損失合計	650	981
税金等調整前四半期純利益	15,606	7,373
法人税等	4,016	6,011
四半期純利益	11,590	1,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	942	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,648	1,200

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	11,590	1,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,101	△541
繰延ヘッジ損益	△293	△300
為替換算調整勘定	2,786	2,853
退職給付に係る調整額	△8	△84
持分法適用会社に対する持分相当額	435	△421
その他の包括利益合計	4,020	1,507
四半期包括利益	15,610	2,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,599	2,235
非支配株主に係る四半期包括利益	1,011	634

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

株式会社UACJアルミセンターを設立したため、当第3四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

当社の持分法適用関連会社であった株式会社住軽日軽エンジニアリングは、当社が保有株式の一部を売却したことに伴い、第2四半期連結会計期間末において、持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(Constellium社との合弁事業の解消)

当社及び当社の連結子会社であるTri-Arrows Aluminum Holding Inc.は、Constellium N.V.及び同子会社Constellium U.S. Holdings I, LLCとの間で、Constellium-UACJ ABS LLCを合弁会社として設立し、北米において共同事業を行ってまいりましたが、平成30年12月11日付で合弁事業解消の契約を締結いたしました。同契約は、平成31年1月10日付ですべての手続きを完了しております。詳細につきましては、平成30年12月11日に公表しました「Constellium社との合弁事業の解消並びに持分法適用関連会社の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	320,690	24,001	113,977	458,668	—	458,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,872	9,615	24,187	78,674	△78,674	—
計	365,562	33,617	138,164	537,342	△78,674	458,668
セグメント利益	23,741	1,475	3,397	28,614	△5,309	23,305

(注)1. セグメント利益の調整額△5,309百万円には、たな卸資産の調整額△241百万円、セグメント間取引消去△246百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,821百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	352,389	24,413	120,637	497,440	—	497,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,992	11,485	26,837	86,315	△86,315	—
計	400,382	35,898	147,474	583,754	△86,315	497,440
セグメント利益	15,524	1,397	2,414	19,335	△5,417	13,917

(注)1. セグメント利益の調整額△5,417百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、セグメント間取引消去△290百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,129百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。